



都祁地域学校規模適正化検討協議会 ニュース



第1号

平成 26 年 10 月
教 育 政 策 課

奈良市学校規模適正化について

本市では、少子化により子どもの人数の減少が続き、多くの地域で学校の小規模化が進んでいます。教育的効果等を鑑みて、過小規模校については、統合再編等を含めた学校の規模及び配置の適正化（学校規模適正化）が必要となっています。

教育委員会では、奈良市学校規模適正化検討委員会からの提言を受け、平成 20 年 1 月に「奈良市学校規模適正化実施方針」と「中学校区別実施計画（案）」を策定し、より良い教育環境の整備・充実のため学校規模適正化に向けた取組を進めています。

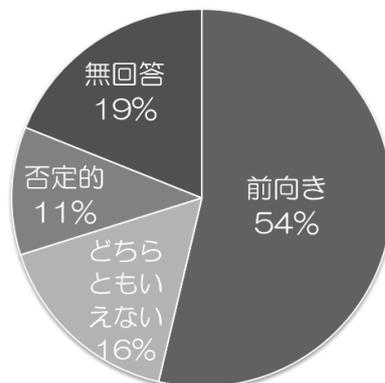
平成 23 年度から平成 25 年度を計画期間とする中学校区別実施計画(案)「中期計画」では、「並松小学校・吐山小学校・六郷小学校は過小規模が継続するようであれば、都祁小学校を含めて統合再編等を検討する。」としています。

これまでの経緯

奈良市学校規模適正化中学校区別実施計画(案)「中期計画」が策定された平成 23 年 6 月 7 日の翌月、7 月 27 日に都祁地区自治連合会の皆様に、9 月 21 日に都祁小学校教職員、翌年 6 月 14 日に都祁小学校保護者の皆様に説明会を行いました。その後、平成 26 年 2 月 20 日に都祁小学校保護者の皆様に説明会を開催させていただくと同時に意見交換の場をもうけさせていただき、併せて、保護者の皆様にアンケートを実施いたしました。そして、6 月 13 日にこの集計結果の報告会を都祁小学校で開催させていただきました。

アンケート結果

都祁地域で実施いたしました保護者アンケートは、都祁地域の小学校の教育環境について「どのように考えておられますか」という自由記述による回答をお願いしました。従いまして、ご回答をいただいた表記から読み取った結果を表しています。読み取り方によっては、その数値や割合に、多少の前後が生じるとは存じませんがご了承ください。回答から、「統合再編をしてほしい。」といった内容や「統合再編については肯定的な捉え方をされている」と読み取れたものは『統合再編に前向きな意見』として、また「今のままでいい。統合再編は反対だ。」といった内容や「統合再編については否定的に捉えられている」と読み取れたものは『統合再編に否定的な意見』として、また、肯定的な意見や否定的な意見のどちらの表現もあり、最終的な意思表示をいただけていない場合は、『どちらとも言えない』と分類をさせていただきました。



対象：262 家庭 回答：164 家庭

第1回都祁地域学校規模適正化検討協議会が10月11日(土)に開催されました。

会長・副会長が選出されました。

委員は地域住民の代表15名、保護者代表5名、学校関係者5名(学校評議員は地域住民の代表、保護者代表が3名兼務されています)の計22名で構成されています。

会長 吉井靖雄さん(前都祁地区自治連合会会長)

副会長 岡村政次さん(都祁地区自治連合会会長、都祁小学校学校評議員)

大西延昌さん(都祁白石町自治会長、都祁小学校学校評議員)



統合再編計画(現在の方針)について

並松小学校・吐山小学校・六郷小学校は過小規模が継続するため、集団活動ができる人数を安定的に確保し、教育環境を整える観点から、都祁小学校を含めて統合再編する。統合先は、都祁小学校又は都祁中学校の敷地内を候補として、1小1中の小中一貫教育を実施していきたい。

質疑応答について

(→市教育委員会事務局からの回答)

・私は大阪で育ち、1学年11クラスある学校で卒業した。いろんな人に影響されてよかったと思う。子どもは5年生で、全員で26人である。女の子は7人で、少ないなりに過ごしているが、「多いといいな」と子どもはいつも言う。統合するなら「する」とはっきり発表してもらおうと前向きに意見も言え、保護者も安心できる。

・今後、結婚をし、子育てをしていく若い世代の人の意見を聞くようなアンケートをしてほしい。

・大勢の中で育つのはよいと思うが、認定こども園も一緒、小学校も一緒、中学校も一緒ということは、何かあればずっとそれを引きずることもあり得ると思うが、市教育委員会はどのように考えているのか。

→こども園から中学校までずっと同じ集団で育つことがよいこととは思ってはいません。複数の小学校区からより大きな中学校区へと、子どもたちの行動範囲に合うようになっていくのが本来の姿と考えています。しかし、都祁地域では、こども園で30~40名いる園児が4つの小学校に分かれ、10名を切る学級がたくさん出てきてしまう弊害の方が大きいと思っています。

・4校で統合ということだが、3校で統合するようなことはあるのか。

→4つの小学校を統合再編し、1つの小学校とする計画で進めてまいります。

・学校規模適正化の計画実施期間を見ると、後期は平成28年で終わるが、それ以降についてはどうなるのか。

→後期計画は平成28年で終わりますが、学校規模適正化については継続いたしますので、平成29年度以降の計画を作成していくことになる予定です。

様々な意見をいただいた上で、都祁地域としては、統合再編に向けて前向きに進めることを了承いただきました。

第2回学校規模適正化検討協議会の開催日時については、改めて後日お知らせをさせていただきます。

お問い合わせ先
奈良市教育委員会事務局教育政策課
Tel 34-5386